

2023年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社シンシア  
 代表者名 代表取締役執行役員社長 中村 研  
 (コード番号：7782 東証第一部)  
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 荒井 慎一  
 (TEL. 03-5615-9059)

### 連結業績予想と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、2022年12月31日を基準日とする剰余金の配当について、下記のとおりとすることを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件は、2023年3月30日開催予定の第15回定時株主総会に付議させていただき予定であります。

#### 記

#### 1. 通期業績予想と実績値の差異について

2022年12月期の連結業績予想と実績値の差異

(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,875	174	170	117	18.78
今回発表実績 (B)	5,585	150	112	66	10.50
増減額 (B-A)	710	△23	△57	△51	
増減率 (%)	14.6	△13.7	△33.7	△43.9	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	4,557	105	113	83	13.39

#### 2. 差異の理由

コンタクトレンズ事業の売上高につきまして、クリアレンズは当社主力商品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「SINCERE 1DAY S」が1,206,909千円（前期比24.7%増）、ドラッグストア専売コンタクトレンズである「EyeWell」シリーズは2022年3月に販売を開始した2WEEK EyeWellの取扱店舗数の増加などにより274,423千円（同38.9%増）と順調に拡大し2,722,963千円（同25.2%増）となりました。カラーレンズは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う外出自粛等の行動制限の緩和に加え2021年5月に販売を開始した「SINCERE 1DAY S クレシェ」の取扱店舗数の増加などにより579,872千円（同37.2%増）となりました。一方、プライベートブランド商品の売上高につきまして、クリアレンズは、引き続き販売各社における販売が好調に推移していることなどにより1,645,711千円（同29.5%増）と大幅に増加しました。カラーレンズは、新規案件の追加発注があったものの販売各社における販売計画の遅延などにより632,114千円（同8.2%減）となりました。その結果、売上高は予想に対して14.6%増となりました。

利益面につきましては、コンタクトレンズ事業において、為替相場や輸送費の高騰などの影響により仕入コストが上昇したことなどから売上総利益率が25.1%（同5.1ポイント減）となったものの売上高の増加が寄与し、売上総利益は1,402,456千円（同1.8%増）となりました。販売費及び一般管理費は、

コンサルティング事業において、M&A関連費用が発生し、コンタクトレンズ事業において、荷造運賃などの変動費が増加したもののコストの見直しを進めたことなどにより1,251,936千円（同1.6%減）となりました。また、営業外損益として為替差益28,495千円及びデリバティブ評価損75,335千円などを計上しました。その結果、予想に対して営業利益は13.7%減、経常利益は33.7%減、親会社株主に帰属する当期純利益は43.9%減となりました。

### 3. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (2022年2月14日公表)	前期実績 (2021年12月期)
基準日	2022年12月31日	同左	2021年12月31日
1株当たり配当金	4円00銭	6円00銭	5円00銭
配当金の総額	25,071千円	—	31,339千円
効力発生日	2023年3月31日	—	2022年3月31日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 修正理由

当社の配当政策につきましては、連結配当性向30%を目途としており、今後の業績予想、経営体質強化の為に必要な内部留保の確保など総合的に勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としております。2022年12月期の期末普通配当につきましては、1株当たり6円を予想しておりましたが、上記の実績値を踏まえ、1株当たり2円引下げ4円とさせていただくことといたしました。

以 上